

令和6年度使用小学校用教科用図書の選定理由（南那珂採択地区）

※ □ 南那珂地区実態や必要な支援等 ○ 選定理由概要

教科	発行番号	発行者略称	選 定 理 由
国語	2	東書	<p>□ 語彙力や文章作成及び要約する力等についての個人差が大きい。図書館の立地等、読書環境にも差があり、学校で系統的・計画的に言語活動を取り入れて指導する必要がある。また、少人数の学級も多いため、タブレット等を活用して多様な意見に触れることができるような授業が求められる。</p> <p>○ イラストや写真によって学習への興味・関心をもたせる工夫があり、児童が主体的・対話的に学ぶ意欲を喚起することができる。</p> <p>○ 取り扱う文学作品等は、親しみやすいものが多く、国語の学習から読書活動につなげることができる。</p> <p>○ 日常の場で活用するための工夫があり、家庭に持ち帰ってもQRコードを読み取ることで漢字の読み方や筆順の確認ができるとともに、各単元の「言葉の力」で言語事項を確実に習得することができる。</p>
書写	17	教出	<p>□ えんぴつにぎり、筆の使い方に苦慮する児童が多い。また、字形や筆順への意識を高める必要がある。デジタル教材等を利用しながら動画で楽しく、わかりやすく学ぶことができるような工夫が求められる。</p> <p>○ 基本の筆遣いについての大きな朱墨写真等の図解が丁寧で、具体的な学習のポイントの説明により、知識・技能の確実な習得ができる。</p> <p>○ 学習のめあてを自分で振り返ることができるような単元構成の工夫により、個人の課題に応じて主体的に学習を進めることができる。</p> <p>○ 「レッツ・トライ」による他教科や日常生活と関連した活動により、学習した書写の力を様々な場面で活用することができる。</p>
社会	116	日文	<p>□ 一次産業が盛んであり、地域の特色を生かした見学やインタビュー等の体験学習は行いやすい。一方、市街地から離れた地域ではタブレット等を活用した授業が求められる。学習内容によって興味・関心に差があり、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る必要がある。</p> <p>○ 問題解決に向けた学習に必要な知識・技能の習得につながるコーナーが設定されており、調査や表現活動などを行いながら基礎的・基本的な内容の定着を図ることができる。</p> <p>○ スマート農業等、先端技術に関する内容を取り上げており、児童が課題意識をもってさらに追及していくことで、学びを人生や社会に活かそうとする意欲を喚起することができる。</p> <p>○ 宮崎県の畜産等、地域に関する内容が掲載されており、学習内容が身近に感じられ、興味・関心を高めながら学習を展開することができる。</p>

地図	4 6	帝国	<p>□ 地図帳の効果的な活用が十分身に付いておらず、発達段階に合わせた指導が求められる。図や表などの資料から必要な情報を読み取る力を高めるような工夫が必要である。</p> <p>○ 文字の大きさや配置に工夫があり、観光名所や特産物も視覚的にとらえやすく、地図の活用が十分身に付いていない児童にとっても親しみをもって学習することができる。</p> <p>○ 資料を精選して見やすく配置されており、複数の資料を関連付けて協働的に学習することができる。</p> <p>○ QR コードの活用により、多様な資料や役立つサイトにつながることで、地図活用の意欲を喚起するとともに、目的に合わせた主体的な学習を行うことができる。</p>
算数	6 1	啓林館	<p>□ 基礎的・基本的な内容の定着が十分でなく、練習問題の質と量、単元の配列等の工夫が必要である。また、問題の内容を読み取る力や自分の考えを的確に表現する力を身に付けさせることが求められる。さらに、家庭学習の充実のために、練習問題の難易度を選択できるような支援が必要である。</p> <p>○ 児童が苦手としやすい単元を分割して配置する等の工夫により、学校の実態に応じて学習内容を組みかえて学習することができる。</p> <p>○ 補充問題や挑戦問題等の設定がされており、個人の理解度に合わせて問題を選択しながら、確実に知識・技能を習得することができる。</p> <p>○ 分かりやすい QR コードの説明や身近な生活場面に関する問題設定によって興味・関心を高め、主体的・対話的に学習を展開することができる。</p>
理科	6 1	啓林館	<p>□ 自然が豊かで、地域素材が豊富であるが、博物館や科学館等は近くにないため、デジタル教材を用いて学ばせる機会が多い。小規模校では、学び合う機会が少ないため、多様な考え方を引き出す工夫が必要である。また、自分の力で論理的に考えたり、まとめたりできるような支援が求められる。</p> <p>○ 問題解決の各段階を視覚的に示し、児童が見通しをもって学習を進めることができる。</p> <p>○ 日常生活と関連づけた内容や既習事項の確認が随所に設定しており、QR コードで資料や動画を読み取ることで、学習した知識・技能を日常生活で活用することができる。</p> <p>○ 実社会での問題発見、解決に生かす STEAM 教育が取り上げられており、教科横断的な視点で学習に取り組むことができる。</p>
生活	6 1	啓林館	<p>□ 山林が多い地域や海岸部や漁港等、環境の地域差はあるが、地域素材や人材が豊富であり、自然体験活動がやりやすい環境にある。一方、小規模校が多く、グループ活動等で学び合う機会が少ない。多様な活動を紹介したり、動画による疑似体験をさせたりするような工夫が必要である。</p> <p>○ 豊富に写真を掲載し、3段階で構成した単元の流れがわかりやすく、児童の興味・関心を喚起しながら学習を進めることができる。</p>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道具の使い方や野菜栽培等、学習のヒントとなるコーナーや植物、生き物、安全や健康に関する図鑑等が設定されており、活動の質を高めることができる。</li> <li>○ SDG'sの視点や保護者へのメッセージ等の工夫により、家庭や地域でも生活科の学びを継続することができる。</li> </ul>
音楽	17	教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 質の高い演奏を聴く機会や様々な楽器に親しむような機会を各学校で設定することは頻繁にはできない。また、音楽室にある楽器が古かったり、専門的な指導ができる人材がいなかったりする学校もあり、音楽の授業の質を高めることは課題である。</li> <li>○ 各題材の学習のポイントが示してあり見通しをもちやすく、主要な教材と選択可能な教材を組み合わせ、各学校の実態に合わせた学習を進めることができる。</li> <li>○ QRコードから、楽器の演奏の仕方の動画や鑑賞曲の楽器の音源等を確認することにより、児童が主体的に演奏技能を習得することができる。</li> <li>○ 日本の民謡や伝統芸能について、宮崎県の例が取り上げられており、児童が地域の音楽に関心を持ち、人々の生活と音楽を結びつけて学習することができる。</li> </ul>
図画工作	116	日文	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 自然や伝統文化が豊富で題材となるものが多く、児童の発想やアイデアを形にする技能を高める支援が求められる。美術館や博物館などの施設を訪れる機会は少なく、専門的なスキルを持つ人材も多くはないため、多様な作品に触れながら自分の作品づくりに活かすための工夫が必要である。</li> <li>○ 身の周りにある様々な色や形、素材等の豊富な写真やイラスト等が掲載されており、児童の感性を活かした自由な表現活動を行うことができる。</li> <li>○ 用具の基本的な扱い方のポイントがわかりやすく示され、QRコードの読み取りにより自分で繰り返し確認することで、主体的に活動に取り組むことができる。</li> <li>○ 製作過程の活動の写真とともに、児童の思いや発想を促すような吹き出し等が掲載されており、創造力を働かせながら学習を進めることができる。</li> </ul>
家庭	9	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 自然豊かで、地域からの協力も得やすい反面、家庭の教育に対するかかわり方には差があるため、保護者や地域との連携を図りながら学習の支援を行うことが求められる。学力の個人差が大きい学級もあり、ICTを効果的に活用しながら学習内容に興味を持たせるような工夫が必要である。</li> <li>○ 題材が細かく区切られており、地域や学校の実態に合わせて内容を組みかえて学習を進めることができる。</li> <li>○ 実物大の資料や裏表紙の写真、ものさし等は使いやすく、QRコードによる動画コンテンツも豊富で、調理や製作実習で効果的に活用することができる。</li> <li>○ 家庭や地域での実践を促すような内容が設定されており、日本各地の文化を紹介したコーナーもあり、児童が興味・関心を高めながら学習に取り組むことができる。</li> </ul>

保健	224	学研	<p>□ 食生活や睡眠等、生活習慣の乱れている家庭があり、健康に無関心な児童も見受けられるため、自分の健康・生活について振り返る場面や、自分で決定させるような場面を積極的に設けるなどの工夫が必要である。</p> <p>○ 写真やイラストによる説明、吹き出し等の活用により、健康増進に関する身近な生活における学習課題を発見したり、解決したりすることができる。</p> <p>○ 有名人の言葉やキャリア教育との関連が明記しており、他教科や他学年とのつながりを意識して、学んだことを広げたり深めたりしながら学習に取り組むことができる。</p> <p>○ 科学的な資料等を多く掲載しており、興味・関心を高めるとともに、QRコードの活用により学習の振り返りをデータとして残すことで、自分の生活に活かすことができる。</p>
外国語	9	開隆堂	<p>□ クルーズ船で観光によく来る外国人との触れ合いもあり、関心の高い児童が多い。ALTや外国語専科の先生の授業もあるが、中学校の授業内容とのギャップがあるため、内容をしっかりと身に付けさせる必要がある。デジタル教材等を活用しながら、ネイティブな方の英語にふれさせるような支援が求められる。</p> <p>○ 音声から文字へと4技能の活動をバランスよく設定しており、ペアやグループで学び合う活動を取り入れながら学習を進めることができる。</p> <p>○ 「書くこと」を意識したスペースが設定しており、音声で慣れ親しんだ語句や表現を文字へとスムーズに結び付けながら学習することができる。</p> <p>○ 学習した内容を振り返る内容が設定しており、自分の成長や課題を確認することで、中学校の英語学習につなげることができる。</p>
道徳	2	東書	<p>□ 自然が豊かであり、明るく優しい児童が多い。一方、他者との関わりは十分ではなく、コミュニケーションを図るような支援が求められる。地域の方々と一緒に活動する場面が多いが、あいさつや積極的な参加等の態度の育成は必要である。また、SNS等のトラブルが多くなってきており、情報モラル教育は重要である。</p> <p>○ 自分の考えを可視化するツール等を掲載し、児童が主体的に考えたり、話し合ったりしながら学習を進めることができる。</p> <p>○ 学習の記録を残すような工夫があり、児童が自らの成長を実感できるとともに、学習の評価にも活用することができる。</p> <p>○ 自分の家族や地域について考えさせる場を設定しており、学習した内容をもとに、日常生活の中で活かそうとする意欲を喚起することができる。</p>